

整理番号	24008
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年12月9日
事業担当課	スポーツ振興課

《基本情報》

事務事業名	社会体育行事開催費 (「はじめようスポーツ体験事業」)		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	G3 スポーツ・レクリエーションの振興を図ります		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	市民が	いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。	
個別施策	G3-1 スポーツ・レクリエーションをする場と機会の充実を図ります		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	市民が	日頃から、スポーツやレクリエーションに親しんでいる。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	・長崎市内の競技人口(小中学生の部活動加入者数、スポーツ少年団登録者数など)が年々減少している。 ・長崎国体以降国体順位が低迷しており(20位台)、競技力アップが課題となっている。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	・スポーツへの参加者が増えている ・将来の競技力が向上している
課題(どういことをする必要のあるのか)	市内の競技人口の拡大と競技力向上が課題であるため、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりの場と情報等の提供が必要
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	<input type="radio"/> 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	<p>小学生以下の子どもを対象に、様々なスポーツを体験してもらい楽しんでもらうことで、スポーツを始めるきっかけをつくとともに、早期にスポーツを始めることで競技人口の増及び競技力の向上を図る。</p> <p>(1)会場内に競技体験ブースを設置し、長崎市スポーツ協会によるスポーツ体験会の実施(10種目程度) (2)トップアスリートによるデモンストレーション(V・ファーレンやヴェルカの選手等によるパフォーマンス) (3)スポーツ少年団、総合型スポーツクラブの紹介コーナー</p> <p>【対象】 市内小学生以下の児童と保護者 【事業主体】 長崎市 【時期】 令和4年9月11日(日) 【場所】 出島メッセイベント・展示ホール 【事業費】 5,000千円 【事業費内訳】 会場設営業務委託 1,800千円 長崎市スポーツ協会への委託 1,000千円 V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカへの委託 1,000千円 会場使用料 1,200千円 【補助率】その他4/5</p>
--	---

業務量の増減	現在5,958時間+50時間					
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input checked="" type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働 市内の小学生と保護者にスポーツに親しんでもらうことで、スポーツを通じた地域活性化に資する。					
	事業期間					
<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)						
予算額	金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	5,000			4,000	1,000
	総額					
	財源名称	スポーツ振興くじ助成金(地方公共団体スポーツ活動助成)				
成果(活動)指標	指標(単位)	アンケートによる「スポーツを始めたい」と回答する割合(%)				
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値	80	80	80	80	80
	成果指標及び目標値の説明	競技人口の拡大等につなげる施策であるため、体験によりスポーツへの参加したいと回答する割合を成果指標とし、目標値をスポーツ推進計画に掲げる子どもがスポーツをする時間を持ちたいと思う目標値80%を基準とする。				

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>子どものスポーツ離れを解消するため、小学生以下の子どもを対象として、スポーツ体験教室を開催し、スポーツを始めるきっかけづくりを行うものである。</p> <p>市内の小学生と保護者にスポーツに楽しんでもらうことで、スポーツを通じた地域活性化に寄与することから、事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。</p>	
<p>【事業実施に対する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートのデモンストレーションについては、委託ではなく、プロスポーツの振興という面から事業者の協力が期待できるので、交渉を試みる事。 ・スポーツ関連企業・店舗のブース等については、出展料の徴収についても検討すること。 	